



食品工場のペーパーレス化に関する実態調査

富士電機株式会社

2022年7月公開版

調査概要

調査目的	食品工場のペーパーレス化への取り組み状況、問題・課題に関する調査
対象エリア	全国
調査対象者	<ul style="list-style-type: none">対象者：工場勤務の食品製造業従事者 <p>The first pie chart shows the distribution of respondents by job class: 係長・主任クラス (59.7%), 課長クラス (27.6%), 部長クラス (10.5%), and 経営層・役員クラス (2.2%). The second pie chart shows the distribution by company size: 100人未満 (28.4%), 100人～499人 (36.3%), 500人～999人 (11.2%), 1,000人～4,999人 (16.0%), and 5,000人以上 (8.1%).</p>
有効回答数	457人
調査方法	インターネット調査
調査期間	2022年2月24日～2月28日

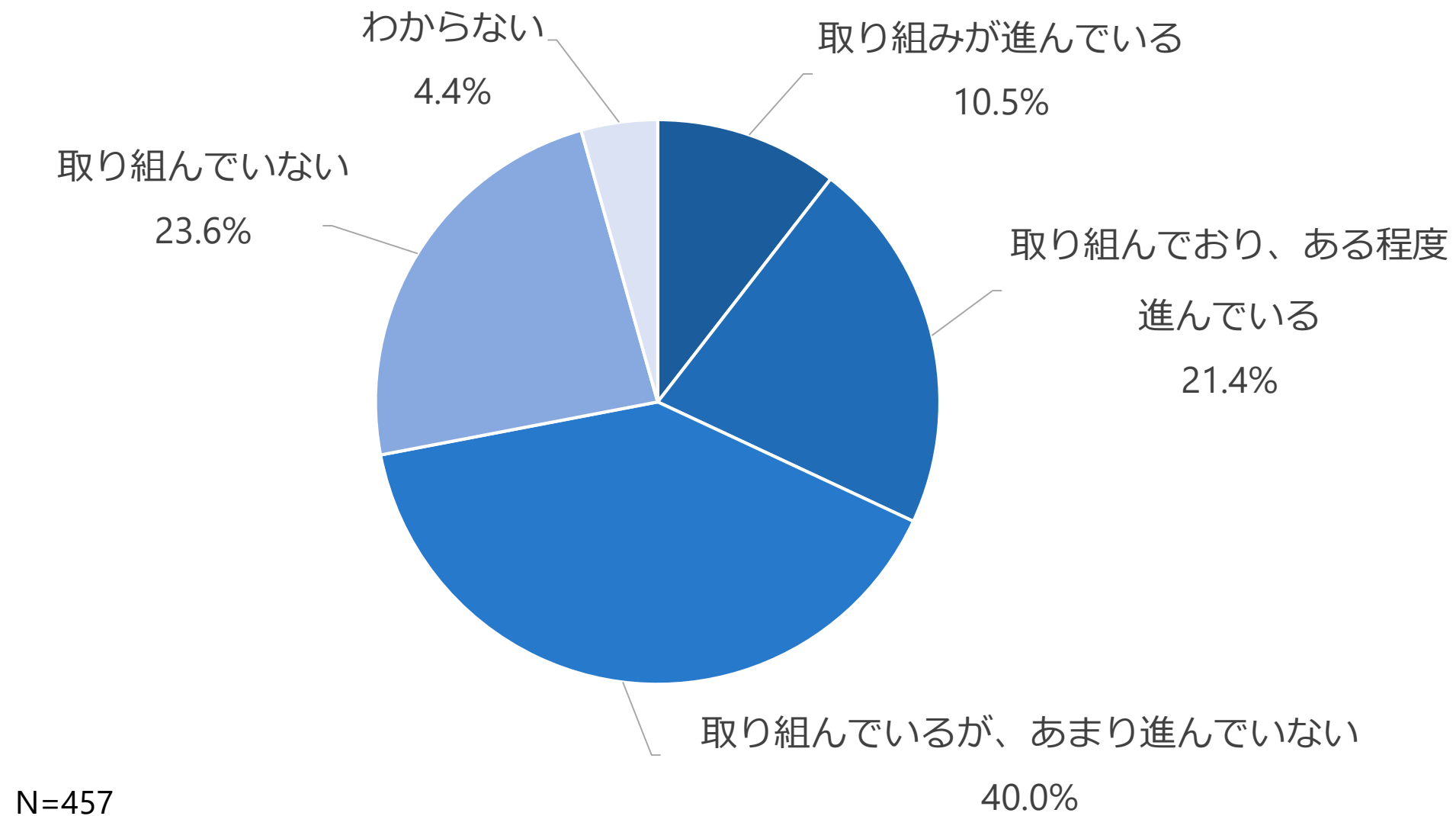
■ 調査項目

- ペーパーレス化への取り組み状況
- ペーパーレス化に取り組む目的
- ペーパーレス化を推進していく上での問題・課題
- 今後のペーパーレス化への取り組み
- ペーパーレス化に関する問題・課題について（F A）

■ペーパーレス化への取り組み状況

- ペーパーレス化への取り組み状況について「取り組みが進んでいる」と回答したのは全体の10.5%、「取り組んでおり、ある程度進んでいる」が21.4%となった（図1）。
- 一方で、「取り組んでいるが、あまり進んでいない」が40.0%、「取り組んでいない」の回答は全体の23.6%となった。
- 従業員数が多くなるほど「ペーパーレス化」への取り組み状況が進んでいる傾向がみられた。
- 従業員規模別では、100人未満で「取り組んでいない」が目立って高くなっている。

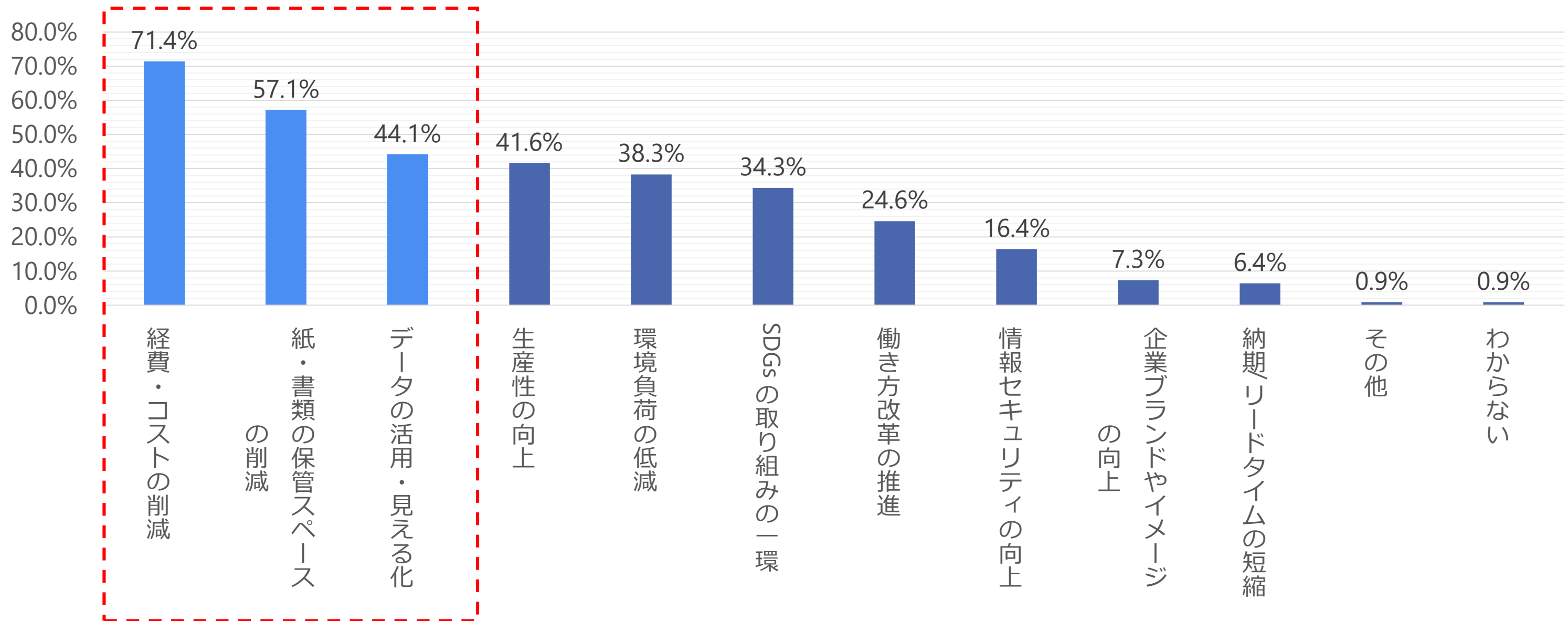
図1 「ペーパーレス化」への取り組み状況



■ペーパーレス化に取り組む目的

- ペーパーレス化に取り組む目的についてもっとも回答が多かったのは「経費・コストの削減」で71.4%、次いで「紙・書類の保管スペースの削減」で57.1%、「データの活用・見える化」で44.1%の順に続く結果になった（図2）。
- 従業員規模別では500人～999人では「データの活用・見える化」の回答は42.5%という結果になった。一方、従業員規模5000人以上では58.8%となり、取り組み状況に16.3%の差が開いた。

図2 「ペーパーレス化」に取り組む目的（複数回答）



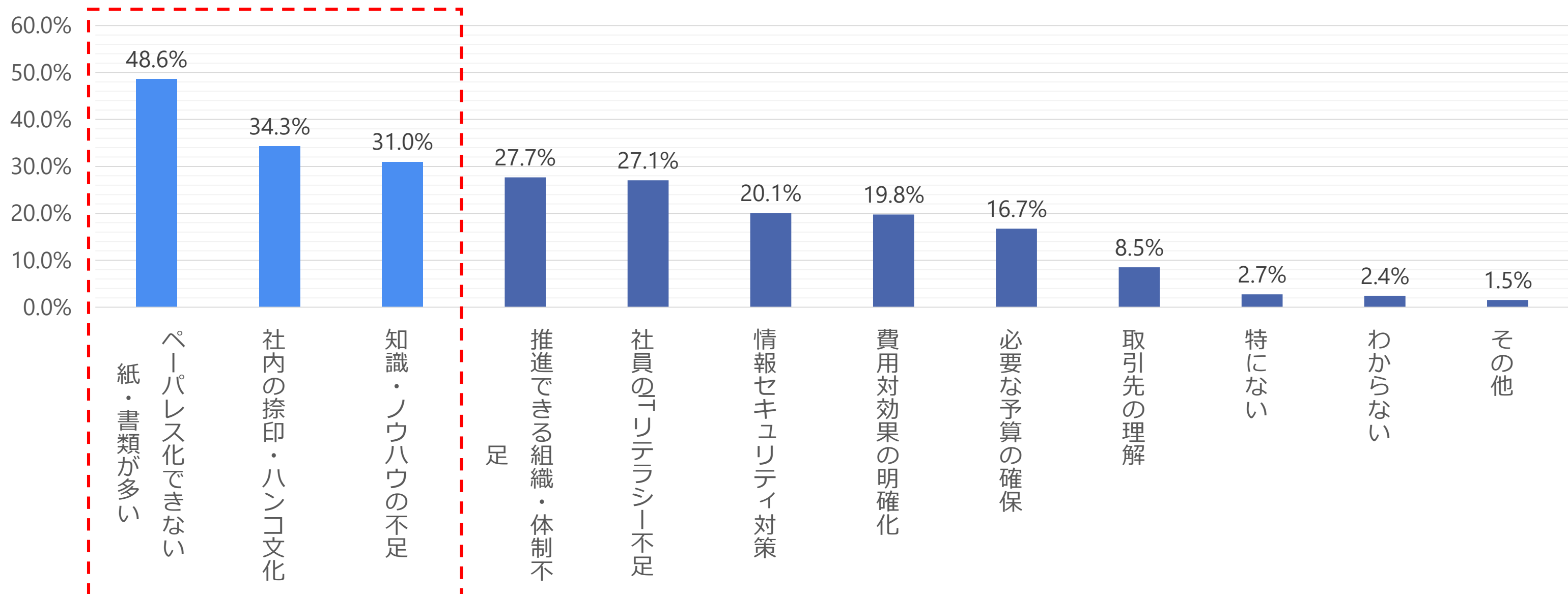
N=329

調査結果

■ペーパーレス化を推進していく上での問題・課題

- ペーパーレス化に向けた取り組みを推進していく上での問題・課題について、もっとも回答が多かったのは「ペーパーレス化できない紙・書類が多い」で48.6%、次いで「社内の捺印・ハンコ文化」で34.3%、「知識・ノウハウの不足」で31.0%の順に続く結果になった（図3）。
- 従業員規模別の集計では「ペーパーレス化できない紙・書類が多い」が最も多かったのは1000人～4999人の回答で60.3%、最も少なかったのは5000人以上で回答は26.5%となった。

図3 「ペーパーレス化」を推進していく上での問題・課題（複数回答）

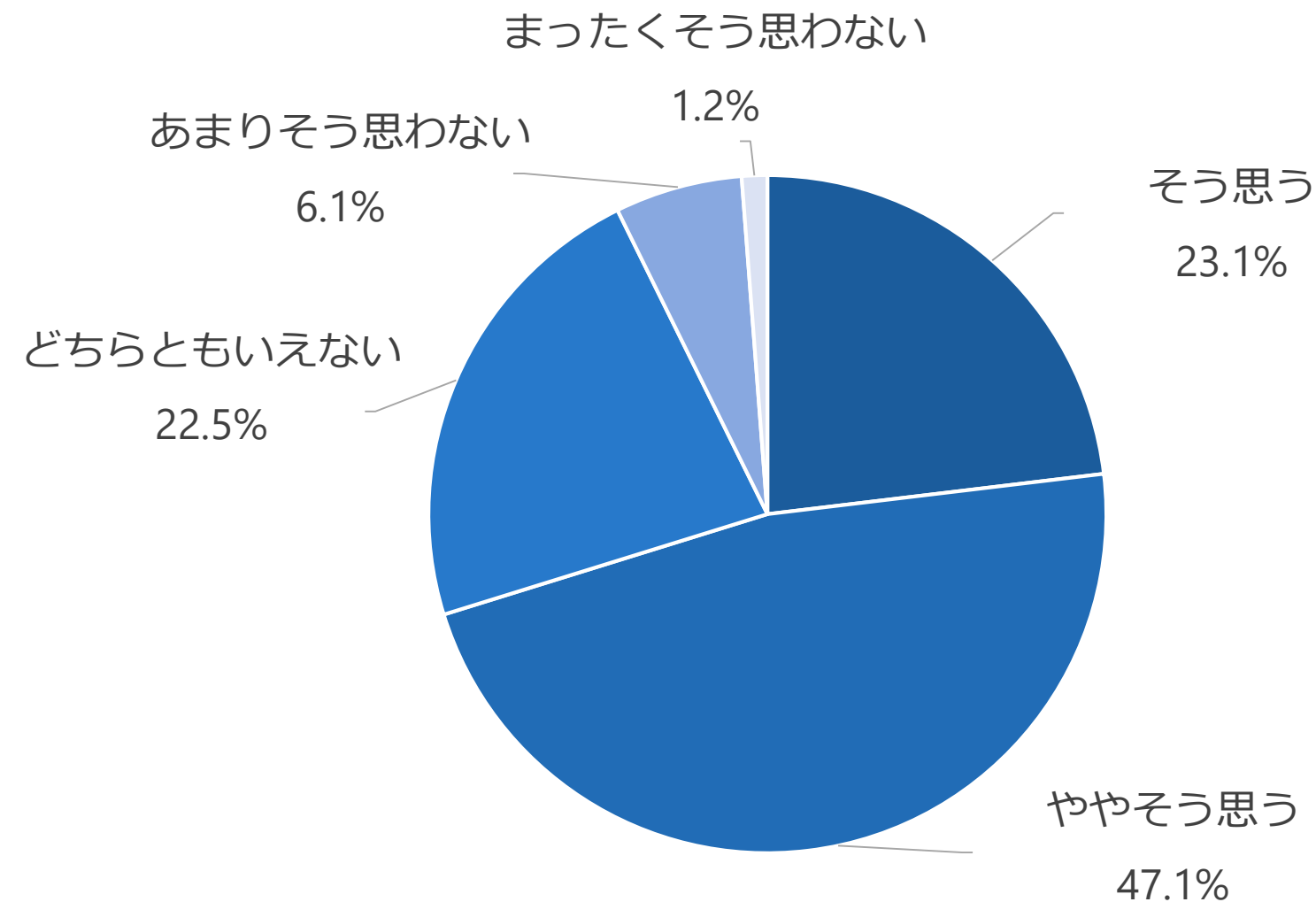


N=329

■今後のペーパーレス化への取り組み

- 今後のペーパーレス化への取り組みについて「そう思う」と回答したのは全体の23.1%、「ややそう思う」が47.1%、「どちらともいえない」が22.5%となった（図4）。
- 従業員数が多くなるほど今後の「ペーパーレス化」への取り組みが進んでいる傾向がみられた。
- 従業員規模別の集計では「そう思う」が最も多かったのは5000人以上の回答で41.2%、最も少なかったのは100人～499人で回答は16.8%となった。

図4 今後の「ペーパーレス化」への取り組み



N=329

■ペーパーレス化に関する問題・課題について（F A）

ペーパーレス化に関する問題・課題についてのF A（フリーアンサー）では、「タブレットなどのデバイスの活用」「紙の確認のしやすさ」「電子化できない書類」に関連する問題・課題が多くみられた（以下F A回答の抜粋）。

- 製造現場で紙のチェック用紙が手放せない。
- 製造に必要な帳票類はどうしても紙ベースで記録を残す必要があり、なかなか電子帳票にできない。
- 工場での作業時に必要な記入用紙、書類があるので、簡素化し最低限にできればと思います。
- ペーパーレスにする事で見にくくなる書類、図面がある。
- 必要な書類や契約文書まで、どの範囲で取り組むのか判断が難しい。
- ペーパーで出さないと確認しづらい資料がある。
- 手書きで記録しなければいけない記録簿が多い。
- 製造に必要な帳票類は紙ベースでの保管期間が決まっており、なかなかペーパーレス化しない。
- ペーパーレス化に向けた取り組みに関する課題として、上層部の紙文化があり、なかなか紙文化をなくすことができないでいる。
- 契約書の取り交わしは押印ばかりではあるが、契約相手の決まりがあるので、それに従うしかない。手間がかかるが仕方がない。
- 取引先からの発注がFAXで入ってくるので、すぐにペーパーレスは難しい。
- システム習熟のための要員や時間の確保が難しい。
- デスクとパソコンがある従業員はペーパーレスでも大丈夫だが、それを持たない作業員にはなかなか浸透させられない。
- 自部署や自社だけでペーパーレスにできない書類が多い。

<ペーパーレス化に関する問題・課題について（F A）抜粋の続き>

- すぐ確認しなくてはいけないデータはペーパーレス化しにくい。
- 様々な人が書類に目を通さなければいけないけれども、現場なのでタブレット等の機械を持ち込むことが出来ない。
- 高齢者もいて、タブレットなどを扱うことができない。
- 温度管理表、原材料受入日報、作業日報など全て紙で行っているため、保管用の書庫の整理、スペース確保など無駄が多い。
- タブレットが導入されていないので頭打ちの状態である。
- Wi-Fi環境やタブレット端末の準備に費用がかかったり、昨今の半導体不足により、納期の遅れなどがあり、全社ペーパーレス化にするには時間がかかる。
- 年齢が高い方はタブレットなどの使用方法が分からず、入力に時間がかかることが予想され、また操作方法などを覚えるのも大変であり、苦戦すると予想される。
- ペーパーレスにする為にはペーパーに変わるタブレットやパソコン、その他端末が必要になってくるが、それが圧倒的に不足している。
- ファックスや紙の給料明細が使われている親会社の連携するには紙が必要でそれを変えていくのにはいくつもの壁がある。
- 詳細な変更履歴が残りにくいいため、どうしても紙ベースの情報に頼る。
- ハンディータイプの端末での操作性や耐久性、データのやり取りのスムーズさやセキュリティなど、問題が山積みだが、解決して取り入れなければ、今後の成長は見込めない。

食品工場のデジタル化・生産性向上をご検討中のお客様へ

食品工場・生産ライン・設備機器にこんな課題はありませんか？



労働者人口減
・人手不足



IoT化の推進
データ活用



突発的な設備故障
生産ロスの低減



自動化・省力化



ペーパーレス化
の推進

・食品工場のIoT化を進めたいが、どこからはじめていいかわからない。

・データの分析・解析が属人化しており、必要な人材も不足している。

・技能伝承が今後の課題だが、どのようなやり方があるかわからない。

・海外工場への出張に時間がとられ、本来すべきことに時間がさけない。

・工場全体の省エネを進めたいが、どこからはじめていいかわからない。

・IoTに取り組み、挫折した経験があり、取り組みがなかなか進まない。

・メンテナンスができていない、いつ故障するか分からない設備がある。

・生産設備の故障時に、十分な原因分析・対策ができずにいる。

・出張制限・移動ができない状況下であり、視察・監査ができていない。

・技術者が不足しており、機械故障時の対応に時間がかかっている。

・人材の確保が難しい一方で、人材の育成には時間がかかっている。

・点検・チェック作業にバラつきがあり、作業品質上の課題がある。

食品製造業界の製造活動を支える富士電機のソリューションで解決します

おすすめの食品製造業界向けソリューション

回転機故障予兆監視システム Wiserot



生産ラインや重要機器として稼働している、回転機の振動を定期的に計測することができます。

例えば回転機、ファン、ポンプ、発電設備、プレスなどの機械設備の「低周波の機械振動」「高周波のベアリング振動」及び「温度」を自動的に記録し、傾向を管理します。

これにより異常予兆を早期発見することが可能になり、適切な予防保全の立案、生産ロスコスト低減に貢献します。

遠隔作業支援パッケージ FWOSP-Glass



遠隔地の現場状況をリアルタイムで把握し、作業の指示や支援を行うことができるスマートグラスです。

作業員がFWOSP-Glassを装着することで、遠隔から映像を見ながら作業指示を伝えることができます。

現場では手順書を見ながらハンズフリーで作業可能で、さらに音声や動画によって作業を記録することもでき、保守・保全作業の負担を軽減します。

人材育成や人手不足などの課題に応え、これまでの働き方を変えると同時に業務の効率化を実現し、作業品質の向上、コスト削減にも貢献します。

導入実績一覧

飼料品・農林水産業A社様 高圧受電設備
 食品・農林水産業A社様 FAシステム
 食品/物流・倉庫業B社様 特高変電所
 食品/物流・倉庫業B社様 分散制御システム(DCS)
 食品/物流・倉庫業C社様 特高変電所
 食品/物流・倉庫業D社様 FAシステム
 飼料製造業A社様 高圧受電設備
 飼料製造業A社様 設備予兆診断システム
 飼料製造業B社様 高圧受電設備
 飼料製造業C社様 FAシステム
 食料品製造業A社様 特高・高圧受電設備
 食料品製造業A社様 分散制御システム(DCS)

食料品製造業A社様 生産管理システム
 食料品製造業A社様 トレーサビリティ管理システム
 食料品製造業A社様 設備稼働監視システム
 食料品製造業A社様 MSPC (多変量解析システム)
 食料品製造業B社様 生産管理システム
 食料品製造業B社様 原料在庫管理システム
 食料品製造業B社様 原料計量・投入管理システム
 食料品製造業B社様 トレーサビリティ管理システム
 食料品製造業B社様 設備稼働監視システム
 食料品製造業B社様 エネルギー監視システム
 食料品製造業C社様 エネルギー監視システム
 食料品製造業D社様 高圧受電設備

食料品製造業E社様 分散制御システム(DCS)
 食料品製造業F社様 設備予兆診断システム
 食料品製造業G社様 設備予兆診断システム
 食料品製造業H社様 FAシステム
 食料品製造業I社様 設備稼働監視システム
 食料品製造業K社様 設備稼働監視システム(MES)
 飲料製造業A社様 生産管理システム
 飲料製造業A社様 分散制御システム(DCS)
 飲料製造業A社様 トレーサビリティ管理システム
 飲料製造業A社様 設備稼働監視システム
 飲料製造業A社様 エネルギー監視システム
 飲料製造業B社様 特高・高圧受電設備

飲料製造業B社様 分散制御システム(DCS)
 飲料製造業B社様 生産管理システム
 飲料製造業B社様 設備稼働監視システム
 飲料製造業B社様 エネルギー監視システム
 飲料製造業C社様 異物検査装置
 飲料製造業C社様 キャップ検査装置
 飲料製造業D社様 ライン監視制御システム(DCS)
 食品包材製造G社様 生産管理システム
 食品包材製造G社様 設備保管理システム
 食品包材製造G社様 検査画像管理システム
 製薬業E社様 高圧受電設備
 医薬品業F社様 BIシステム 他多数

お問い合わせ

本資料に関するお問い合わせは下記URLよりお知らせください。

食品工場ソリューション公式Webサイト：

<https://www.fujielectric.co.jp/products/foodfactory/> 

富士電機株式会社

〒141-0032

東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

パワエレ営業本部 プロセスオートメーション統括部 営業第4部1課